

| 項目             | 番号 | 意見内容   | 対応方針   |
|----------------|----|--|--|
| 計画書全体や策定の進め方など | 1  | 全ての項目について担当部局を書くだけでなく、主担当部局と関係する部局の全てを副担当部局として明記してもらいたい。   | 個別計画の担当部局名については、庁内の役割分担のために仮に書いてあるもので、組織再編があるため、本編には載せない方針です。  |
|                | 2  | (個別計画について) 基本方針等がある場合は、骨子でいいので資料として会議に提出して欲しい。   | 個別計画まで載せると資料が膨大になるために必要な方には配布しますので申し出て下さい。インターネットからでもダウンロードが可能です。  |
|                | 3  | 何を優先して行うかの順位付けをする必要性を感じる。  | 先行プロジェクトを設ける予定で、その他の事業については、毎年の予算査定状況に応じて、実施段階で優先順位を検討する予定です。  |
|                | 4  | 創る、守る、育てるの項目を一覧にして俯瞰できる資料が欲しい。その後に、個別の資料が出て来るのが良いと思う。  | 個別計画の前に「施策の体系」として一覧表を付けていますのでそれをご覧下さい。   |
|                | 5  | 計画を、「市民と一体となって、協働で、計画達成に向けて進めて行く」ためには、「地域コミュニティの再生と支援」が不可欠と考えます。その為の方策として、各地区の「自治会長 及び、副会長」にご参集頂き、各自治会が抱えている「問題点・課題」を抽出し、解決に向けて、「地域コミュニティの再生」と合わせて、「意見、アイデア」を出してもらおう。  | 施策の実施段階に於いては、そのような方法も必要かと思っておりますので、ご協力を頂きたいです。また、今年度より「地域担当職員制度」に取組んでいます。これは、9つの地域で地域の課題を共有し、検討することを目的としています。  |
| 策定の視点          | 9  | P.1計画策定の視点の(1)市民と連携してとあるが、ここだけ連携してとの文言が使われていますので、他と合わせた市民と共にと変更してはどうか。   | P.1の連携は、「ともに」と変更します。   |
|                | 10 | 「ライフラインの充実」「子育て出産」は主な検討事項の①～⑦全てに関係してくると思われる。   | 双方とも全体に関わる内容であると考えています。  |
| 主な検討事項         | 11 | 主な検討事項の⑤「教育の充実と地域・学校・家庭・行政が連携した～」とあるが、橋本市には大学がない実情から10年後を見据えて、高校生にIT教育による人材育成を行い橋本市で住んで就労してもらうことが大切だ。  | IT教育については、既に小学生から取り入れています。高校教育は県の所管ですが、高校でも同様の教育は進んでおり、県の総合計画でも言及されています。   |
|                | 12 | 基本目標における分野別施策の中で①、②、③とあるが、中でもどの方向で進めるのかははっきりさせる。   | 基本目標それぞれにおいて、先行プログラムを設定しています。  |
| 基本目標           | 13 | 安全・安心に暮らせるまちづくりに努めるとあるが、維持するとしてはどうか。   | 安全・安心に暮らせるまちづくりにこれまでも取り組んでいますが、今後も取り組みを続ける意味で努めるとしています。  |
|                | 14 | 「守る」と「創る」は都市基盤、生活基盤整備系の目標。「育てる」は人格形成あるいは人づくり系の目標。これを公民協働でやっという行政推進の基本方針をした構成だと思う。  |  |
|                | 15 | 「創る」「守る」「育てる」はそれぞれが独立したジャンルであり、それぞれを⇄で結び連携という言葉を書いているが、連携を示す説明がないし、そもそも連携する内容って有るのですかね？連携は不要ではないですか。   | 三つの目標へ向けた取組みが、まちの将来像を実現するために連携していることをイメージしています。具体例としては、暮らしやすさとして生活基盤や教育環境の充実がシティーセールスが可能となるといったことや、雇用を創出することに加えて、医療・福祉・子育て環境が充実していることで定住が可能となるといったことがあります。 |
|                | 16 | 3目標を平均的に施策展開する方針なら基本目標に順位付けは必要ないと思いますが、市長の施策展開の順位付けを表明することになるので、ここでの順位付けは市長のお考えと言うことになる。※例えば、今後の施策展開の重み付けが工業団地造成による雇用機会創出の「創る」優先なら、今の順位となる。私のイメージでは「守る」→「育てる」→「創る」の順での施策選択、予算執行が方向かと思う。  | 基本目標それぞれについての順位付けは考えておらず、先行プログラムにおいて、各目標の中で優先的に取組むものを取り上げています。   |
|                | 17 | 「創る」の「③充実した情報整備と魅力的なまちづくり」の情報発信先は基本計画によると主に市民向けで有り、産業誘致のためではないように思う。この項目を行政推進の基本方針で表示したらどうか。そして、基本目標4、「攻める」行政推進の基本姿勢として格上げし、分野別政策として①協働によるまちづくり、②充実した情報の発信、③持続可能な業財政運営、④多彩な連携の推進で構成する。基本計画でもこれを施策としてまとめる。「攻める」行政推進の姿勢は良いのですが、「攻める」に値する表現ができるかは疑問。「攻める」を他に考えるか・・・ | 「情報発信」については、行政全般に関わる内容となるので、「行政推進の基本姿勢」において「情報共有」といった形で記載します。また、基本計画については、施策項目名を、「情報コミュニケーション」とします。  |
|                | 18 | ・「守る」分野別政策1は「安心安全な暮らしを支える都市基盤づくり」だけに分野別政策<br>①安心安全な暮らしを支える都市基盤づくり<br>災害・犯罪の防止や・・・安心・安全に暮らせるまちづくりに努める。<br>②生活利便性を高める生活基盤づくり<br>公共交通機関、道路、市街地整備、商業サービス、の維持改良について記載<br>③豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり<br>④住み慣れた地域で安心して住み続けられる健康福祉環境づくり                                      | 生活利便性については、「守る」の全てに通じる内容であり、一つの分野別政策に落とし込むことは難しいと考えており、現行のとおりとしています。   |
|                | 19 | ・「育てる」の中で「育み学びあう」は「学び育てあう」の方が言葉の順序かと思うのですが如何？  | 「育てる」を前提として「学ぶ」という考え方から、この順序としています。  |
|                | 20 | ・分野別政策1<br>一人ひとりの個性が輝き、尊重され・・・を入れたい  | 基本理念において「一人ひとりが輝き」としています。  |
|                | 21 | ・分野別政策2<br>妊娠から出産、子育て、教育まで・・・を入れたい   | 「妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域社会づくり」としています。   |
|                | 22 | ・モデル図に、以上の3目標と行政推進基本方針である「協働」は表現されていますが、「広域的連携」「選択と集中」も掛け合わせて表現できないですかね？   | 「広域的連携」「選択と集中」については、行政を進める上での基本的な前提と考えており、次ページの「行政推進の基本姿勢」にまとめてあります。   |

| 項目        | 番号 | 意見内容   | 対応方針  |
|-----------|----|--|---|
| 将来人口      | 23 | 「2015年度に策定された橋本創生「総合戦略」の推計方法に準拠し、2017年に見直された全国将来人口推計を参照して再計算し、・・・60,000人としませす。   | 現在公表されている推計は全国の人口のみであり、市町村推計については来年の春に公表される予定で、これを考慮することは難しいと考えています。  |
|           | 24 | 交流レクリエーションゾーンについて、杉村公園と橋本運動公園としているが、例えば橋本運動公園は、スポーツ交流レクリエーションゾーンと言った文言にしてみてもどうか。   | 細分化しますとそういう表現になりますが、土地利用構想では、土地の使い方の基本的な方向性を示すもので、細かな内容は基本計画に委ねることにします。   |
| 将来の都市構造   | 25 | P.11ゾーン別土地利用について②農業増進ゾーン、③自然共生ゾーンにおける農地の位置づけが曖昧になっていないか。自然共生ゾーンには、橋本カントリークラブや恋野の開発地域が含まれていることから自然共生ゾーンにおける農地の役割についてお答えいただきたい。  | P.11③自然共生ゾーンにおける農地については、来訪者等に自然とふれあっていただけのゾーンとして分けさせていただいております。農業増進ゾーンは、農業振興に関する法律に基づく「農振農用地区域で積極的かつ高度な農業を推進する区域」で、自然共生ゾーンは、「農業振興地域での農用地の指定を受けていない白地帯」で一部林地等を含んでいます。農地としての法的な永続性では、農用地区域の指定を受けている区域の方が永続性の高い農地という位置づけです。農業を行う上で差があるわけではありません。   |
|           | 26 | ⑥交通軸の説明の中で民間路線を基幹路線として支援するとのあるが、どう言う意味かお答えいただきたい。  | 公共交通に関する記述で民間の鉄道、バス路線を基幹路線として、公共が行うバス路線がその基幹路線を補完する形で公共交通のネットワークの維持を行う意味です。   |
|           | 27 | 資料⑤の将来の都市構造の基本方針の差し替え分の文章が、基本目標の順位になっていませんか？この節の順だと、「守る」「育てる」「創る」最後にまた「守る」となっている。  | 都市構造の基本方針については、土地利用についての全体的な考え方を示したものであり、優先順位を表すことは考えていません。   |
|           | 28 | 土地利用構想図で、ゴルフ場が自然共生ゾーンになっている。交流レク拠点ではないか？   | 交流レクリエーション拠点については、市が関連する施設の周辺を位置づけています。   |
|           | 29 | 恋野地区の直背後も自然共生ゾーンとなっているが、ここは交流レク拠点の構想がありませんでしたか？  | 前計画においては企業誘致用地として「産業拠点」と位置づけられていましたが、現在では企業誘致用地ではありませんので削除しています。  |
|           | 30 | 凡例で高速道路が表現されているが、高速道路軸とあるので不要ではないか。「道路」は「主要道路」、「鉄道軸」は「鉄道」で良いのではないか。  | 修正  |
|           | 31 | 森林保全ゾーンなどのフォントが小さいようです。  | 修正  |
|           | 32 | ・財政状況の見直しについて、2016年度のデータを追加して下さい。<br>・歳入と歳出の見通しのグラフに各年度の合計値を入れ、わかりやすくして下さい。<br>・歳出における人件費とその他の色が同色で判断しにくいので色を修正していただきたい。   | 修正<br>修正<br>修正  |
| 財政状況の見直し  | 33 | 現時点の総合計画において、方針が決まっていなのに歳出が出されていることに疑問があり、どこから出てきた資料なのかお聞きしたい。それと各種グラフ等の年度の取り扱いについては、年号が変わることから、西暦表記へ変更することを提案したい。   | 財政計画については、投資的な経費が5%程度しかなく、収入の伸びがほとんどなく、歳出も人件費、扶助費、公債費、維持管理費が大半を占めている。その中で、中期的に財政をどのように運営するかを推計を行っており、皆さんにお示したのは、その推計値である。総合計画の方針が出て、大きな枠組みは動かしがたいものがあり、その枠の中で何に優先的に投資をするかを来て行かざるを得ないのが実情である。本市が直面している財政状況を市民の方にもご理解頂くために財政計画としての推計値をお示しました。このような状況の中で政策をどのように進めればよいかを検討して頂いているのが現状です。西暦表記については、併記も含めて最終修正の予定です。 |
|           | 34 | 歳入の見直しより、市税と地方交付税等が合算されているが、分けてみてどうか。それと歳入、歳出を出された根拠を記載すべきである。例えば過去の推移のもと算出したのの文言を記載。  | 財政状況等の見直しについては、根拠となる文言を記載していませんので財政課とともに協議を行い検討してまいります。また、歳入・歳出の見直しについては、P.14のような表現に変えることは、国の見直しも難しい面もあるので現状のように表現させていただき、これらの示す見直しは、このような財政計画に沿って進めていきたいという考え方であることをご理解いただきたいと考えています。  |
|           | 35 | 国や県に地方財政計画として出されたものを使用したものか。現時点での歳入・歳出は書けるが、2022年までとなればそれなりの根拠がないと作れないと思うが。また、議論に出ていました市税と地方交付税等については、市税がどれだけあって国からの地方交付税がどれだけあるということと同じ枠でもいいので線を入れ分けるといった工夫ができるのであればお願いしたい。 | 市税と地方交付税等の意味合いとしては、地方財源として合わせていましたが、分けて記載します。   |
|           | 36 | P.14の財政状況見直しあるように、歳入・歳出についても過去の値を載せて頂きたい。  | 過去の歳入・歳出に関しては、基礎資料に記載します。   |
|           | 37 | P.15の歳入・歳出の見直しについて掲載することは、とてもデリケートな問題であり、むずかしい。過去の例からすると計画を実行するにあたり投資的経費がどの程度必要であるといった事の方が分かりやすいので、これらも含め総合的に検討していただきたい。   | 投資的経費を示していくこともひとつあるかと思いますが、右肩下がりの時代において、トータル的に考えていく必要があることからお示しさせていただきましたが、基本計画を審議していくうえで再度検討してまいりたいと思います。  |
|           | 38 | 資料編に移動しませんか。3. 基本姿勢の中でさらっと表現する程度。  | 財政状況を踏まえて作成していることを示すため、基本計画に入れていきます。  |
| 行政推進の基本姿勢 | 39 | 行政推進の基本姿勢 基本姿勢2に情報発信を入れる。そしてこの節を基本目標とする分野別施策の計画を示す。  | 基本姿勢1に「情報共有」として記載します。   |

| 項目   | 番号   | 意見内容  | 対応方針  |
|------|--|---|---|
| 基本計画 | 40   | 施策項目の書きぶりですが、「○○○」と切ったり、「○○○の○○」と表現したりがあります。どちらかに統一できないか。私としては「○○○の○○」が良いと思いますが・・・  | わかりやすくするため、「○○○」といった形で統一します。  |
|      | 41   | 本文中で、施策の展開は市として対応する事項に書き切れていないと思う。市単独でできないことや、関連団体等と協働してやることは、「支援する」とか、「指導する」とかになるのではないか  | 実施主体は住民や事業者となるが、実現に向けて市行政が支援し、呼びかけ、働きかけていくものは「～促進します。～支援します。」に、実施主体は国や県などとなるが、実現に向けて市行政が働きかけていくものは「～要請します。～要望します。」と統一します。 |
|      | 42   | ・商工業、農林業とも「はしもとブランド」が大きなテーマとなっている。分野別施策1の地域産業づくりで「創る」のは「はしもとブランド」。依って、施策項目1、2を改編  | 「はしもとブランド」については、それぞれの項目の中で取組む内容があるため、施策項目ごとに記載しています。  |
|      | 43   | ・施策項目1、商工業の内の①商業の活性化は良いが、暮らしやすいまちづくりは「守る」の項目と考える。また、新規工業誘致は、施策項目5にまとめる。   | 商業サービスの充実による生活利便性の向上をイメージしています。また新規工業誘致については施策項目5にまとめています。  |
|      | 44   | ・施策項目7、情報発信力の強化も「守る」の項目ではないでしょうか？   | 新たな市場との結びつきを創る意味で、「創る」の施策項目としています。  |
|      | 45   | 以下に市の現業課の構成を踏まえて、目次改編案を示す。合わせて構成を見直す。<br>○「創る」<br>分野別政策1. にぎわいと活力を創出する<br>地域産業づくり<br>施策項目1. 地場産業における「はしもとブランド」の創出<br>①商工業<br>②農林業<br>施策項目2. 地域産業の基盤づくり<br>①商工業<br>②農林業<br>施策項目3. 観光まちづくりの推進<br>※施策の展開④において体験型旅行商品を作成するとあるが、市でやるのか？<br>※DMOは「高野山吉野路ツーリズムビューロー（設立予定）」のことか？<br>分野別政策2. 雇用の創出と就労環境づくり<br>施策項目4. 雇用、就労・労働環境の拡充<br>施策項目5. 企業誘致の促進<br>※企業誘致であり、大学、専門学校、福祉事業所などの事業所誘致は考えないのか？ | 基本計画の構成については現行通りとしています。   |
|      | 45   | ○「守る」<br>分野別政策1 安心・安全な暮らしを支える都市基盤づくり<br>施策項目8～11 ○○○の推進などと記述。<br>項目11は消費生活相談の充実<br>分野別政策2 生活利便性を高める生活基盤づくり<br>施策項目12、14、13を○○○の推進などと記述<br>あらたに「創る」暮らしやすいまちづくり関連の商業の部分を持ってきて、施策項目15商業サービスの充実を入れる。<br>※資料④30頁施策の展開の④内特別用途地区の内容は？<br>分野別政策3 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり<br>施策項目16～21に移動してくる<br>「下水道の拡充」を22充とする<br>分野別政策4 住み慣れた地域で安心して住み続けられる健康福祉環境づくり<br>施策項目23（22）～26（27）                     | 基本計画の構成については現行通りとしています。<br>「平和」に関する内容を記載します。  |
|      | 45   | ○「育てる」<br>・57頁 人権と平和と有るが現状、課題に平和に関する記述がない。<br>・10年後の目指す姿<br>世界各地で不穏な情勢が続く中、学校教育、社会教育を通じて世界を先導しうる平和都市を目指し、宣言する。<br>・施策の展開③ 平和都市実現・・・→平和都市維持・・・   | 基本計画の構成については現行通りとしています。<br>「平和」に関する内容を記載します。  |
| 45   | ○「攻める？」<br>分野別政策1 協働によるまちづくり<br>分野別政策2 充実した情報の発信、<br>施策項目1. シティセールスの促進<br>※資料④の15頁全部と18頁の施策展開の②③で構成<br>※16頁 「フンストップの移住相談」の意味が分かりにくい<br>施策項目2. 広報・公聴活動の充実<br>※資料④の17頁、18頁の①等で構成。<br>※17頁現状の4番目の記述が現状を表していない。<br>→・・・発信する必要がありますが、まだまだ市民参加が不足しています。<br>分野別政策3 持続可能な行財政運営<br>施策項目 選択と集中<br>施策項目 社会資本ストックの長寿命化<br>分野別政策4 多彩な連携の推進<br>政策項目 広域的行政連携<br>政策項目 公民連携 | 基本計画の構成については現行通りとしています。<br>わかりにくい単語について、注釈を入れることを予定しています。<br>変更   |   |

| 項目                 | 番号   | 意見内容  | 対応方針  |
|--------------------|--|---|---|
| その他の意見（具体的な事業の提案等） | 46   | 「前畑秀子」さんの生涯を「NHK朝ドラで放映する」誘致活動を進めているとの事ですが、更に「オリンピックの気運」を高めるため、また「橋本市」の「魅力度」を「マスメディア」を介してPRするために、有名人の「観光大使」の就任を提案します。下記、橋本市出身、二名の方に打診されてはいかがでしょうか？<br>・溝端淳平氏（俳優）<br>・筒香嘉智氏（プロ野球・DeNA主砲）        | 個別計画の施策項目7「情報コミュニケーション」において、メディアミックスやマスメディアの活用について盛り込んでいます。   |
|                    | 48   | 「観光客」へのPR<br>・昨年、「関西ウオーカー」に取り上げられたように「マス媒体」を利用したPRの機会・露出度を増加させる。<br>・市内在住の「高校生、大学生」達に「橋本市・PR動画」の「アイデア」を募集し、可能なら「出演」してもらおう。「YouTube」橋本市公式チャンネルの刷新、拡充。<br>・橋本特産品・「柿」「巨峰」「卵」の更なる「商品化」「食品レシピの開発」。 | 施策項目2「農林業」において、農畜産物のPRやブランド化について盛り込んでいます。   |
|                    | 69   | 観光客誘致、市民の自慢、高齢者の生きがい等を考える。  | 観光客誘致については施策項目3「観光」において、市民の自慢については施策項目6「シティセールス」のシビックプライドの醸成、高齢者の生きがいづくりについては施策項目24「高齢福祉」や施策項目32「生涯学習」にそれぞれ盛り込んでいます。    |
|                    | 51   | 観光/宿泊を主として育成し、インバウンダーを橋本市に来て頂ける様な整備を行って、高収益と就労を確保する施策とする。   | インバウンド振興については、施策項目3「観光」において、民泊の取り組みについて盛り込んでいます。  |
|                    | 54   | 紀の川エリアを親水エリアとして、観光資源として開発する検討を行う。   | 紀の川をテーマとした観光振興については今後1つの施策として研究していきたいと思えます。   |
|                    | 64   | 紀の川沿いに花を植え観光客に来てもらう。  |   |
|                    | 58   | 紀の川沿いの何箇所かのスペースに花（例えばチューリップ園、芝桜、バラ園、桜園etc）を10年かけて作って欲しい。  |   |
|                    | 53   | 小規模事業者が活用しやすい補助金などを通じて、事業スピードが向上するように商工会議所・商工会との連携し、さらに情報配信を活発化する。また、起業に向けた事例研究なども広く情報提供する。   | 基本的な施策は基本計画に載せていますので、ご確認下さい。具体的な事業については実施段階で検討させていただきます。  |
|                    | 55   | P4-③「安心・安全で利便性の高い暮らし」の事項の中と関連するが、医療・介護を中心とした街づくりはいかがか？少子高齢化は全国的傾向であり解消は困難である。ならば高齢者が人生の最晩年を住みやすい街、橋本市を目指す。（他府県から引っ越してくる。）   | 既に高齢化に対応した施策として、先行的に取組む施策にも取り上げる予定にしております。  |
|                    | 56   | 医療・介護系に関わる産業の誘致、医師を始めとする 医療・介護系の若い人が資格取得出来る教育機関の誘致を行う。<br>中小企業や、個人商店の医療域下町も形成しやすい。  | 良いアイデアと思いますが、介護系は待遇の悪さや重労働であることから、人材の確保が難しいのも現実です。財政的にも医療・介護系事業所が増加すると社会保障費が増加し行政の出費も増加するため、本市の需要に応じて対応を行うというのが現在の方針です。 |
|                    | 57   | インバウンドの健康ツーリズムや、人間ドックも商品パッケージができるはず。  | 大学病院など高度医療機関がある都市では、既に行われていますが、本市に残念ながら対応できる医療機関がありませんので、市民の医療需要に如何に対応するかを市の方針としています。                                   |
|                    | 59   | 学校施設のエアコン化始め一般社会生活に応じた最低限の環境維持整備。<br>1) 教室のエアコン設置<br>2) トイレの洋式化、3) 雨漏り修繕 等  | 具体的には老朽化が進んでいる学校から計画的に順次進めているところです。   |
|                    | 60   | 国の機関の利用（自衛隊の導入施設（人口増加、税金の増）裁判所、刑務所等の設置）   | 検討の余地はあるとは思いますが、ただし民間感情の問題や国の方針もあり、慎重に取り扱わなくてはならない問題と考えます。  |
|                    | 61   | 行政の簡素化。   | 行政推進の基本姿勢に含まれる内容です。   |
|                    | 62   | 自然があり歴史があり、高齢者にとっても橋本市外でのふるさとを想い起こしてくれるのでないでしょうか。   | 人により違いますが、移住してきた方からは良いところだとの評価は高いようです。  |
|                    | 63   | 歴史の再確認（市民が理解していない）  | 故郷教育の推進や市民による語り部の育成、生涯学習の推進などを進めているところです。   |
| 65                 | 出生数が減少してきて、高齢化が進む  | その通りになって来ていますので、その対策を講じています。  |   |
| 67                 | 市役所の方が言われた「住処を求めて（橋本に）やってきて、仕事を求めて（橋本を）出て行く」←これの何がいけないのかな？と思います。もちろん、どちらも有ればなおよいでしょうが、二兎を追う者は一兎も得ずというように、どちらも大切と言うのは簡単なことですが、そうすることで何も生まれないような気がしています。いろいろな立場や力関係があり偏った意見を言うてはいけないのですが、まず一つの事に特化することで、大きなうねりができ、そのうねりが他もまきこみ、うまく回っていくということになったらいいのかなと思います。 | 市としては転出転入の動機を述べさせていただいて、良い悪いの判断をしている訳ではありません。   |   |



| 項目 | 番号 | 意見内容  | 対応方針  |
|----|----|---|---|
|    | 70 | 安全や安心はあたりまえのことで、10年後に働けない、幸せを感じられないまちではいけない。何を具現化していくか考え、産業政策に盛り込んでいただきたい。  | 企業誘致を初め既存産業の振興、創業支援、及び通勤環境の整備等あらたな就業機会の創出に力を入れていく計画とする方向で検討しています。   |
|    | 71 | 財政健全度が最下位、住みやすさ8位など類似都市の中で順位が低い。また、緊縮財政で投資的経費が少ないので、保全修繕に力を入れることとやりとりのあるところに投資することが大切。  | 行政推進の基本姿勢に含まれる内容です。   |
|    | 68 | 近代的な箱物を作るより、古き良き歴史ある物に新しい息吹を吹きこみ、活用していくことにより、大きな財政を必要としない 進歩が見込めるのではないのでしょうか？   | 空き家や空き公共施設が増加しつつあることから、耐震補強などに配慮しながら有効活用に向けての取り組みを進めていく方針は、国や県の上位計画を踏まえ、本市でも取り組みを始めたところです。                |
|    | 72 | 人口流出を少なくする目標として、企業誘致の造成、投資により人口を増やし、新規宅地開発を行い人口の流出を防ぐ。  | 企業誘致についてはその方向で進んでいます。   |
|    | 50 | 「企業誘致」<br>・「企業立地に頑張る市町村20選に選ばれた熱意」でもって、今後も「企業誘致」を根気よく継続してください。そして企業進出で「昼間人口、交流人口」増加に伴い「近郊からの通勤従業員」には、「橋本市の政策、要望」の意見、提案権を認め、参画してもらってはいかがでしょうか？                         | すばらしいアイデアだと思いますので、実施段階で参考にさせていただきます。  |
|    | 73 | 交通の利便性や文化性が低いので、連携し高めていく。   | 施策項目12「地域公共交通網」において盛り込んでいます。  |
|    | 74 | 住むことに重点をおくのか、働くことに重点をおくのか。  | 住むことと働くことの両方が揃わないと定住には結びつかないと考えています。今橋本市に不足しているのは新たに働くところが少ないという意識を持っています。住むところは周辺の自治体に比べると恵まれていると思っています。 |
|    | 66 | 橋本に出て行く人もいるが、戻ってくる人もいることから、そういった人のことを考えた計画とする。  |   |
|    | 49 | 「移住希望者」へのPR。<br>・空き家、空き地情報を「イベント、フェア」を通じて、常時提供する。<br>・今後、「移住コンシェルジュ」による「移住ガイド・相談」に期待します。<br>・現在の「子供医療等の助成制度」「子供のいる世帯向けの補助金」、「転入夫婦新築住宅補助金」、「起業する場合の補助や助成金」等の更なる拡充を望みます | 施策項目6「シティセールス」においてUIJターンを対象とした情報発信や、移住・定住に関する取組みについて盛り込んでいます。   |
|    | 47 | 類似団体との比較において「民力度」は9位、「財政健全度」は最下位の11位と悪く、これを引き上げる為には、「交流人口」及び、「定住人口」を増加させなければならないと痛切に感じます。前回の「審議会」で、意見を述べましたが、「シティセールス推進課」は「マーケティング思考」で、少し「尖がった対策」を打ち出す必要があると思います。     | その通りだと思います。既にシティセールスの基本計画に基づきその方向で動いて居ますし基本計画にも載せています。  |
|    | 52 | 誘致事業については、IT/ICTに関わるソフトウェアの会社を誘致すべき情報インフラを整備すると同時に、工業高校からの人材育成や専門学校の誘致を検討し、人材育成を実現する。   | 実施段階で検討をさせていただきます。  |
|    | 75 | 具体的に定住策が出せないのか。他市との違いを見せることや橋本市の魅力、知名度を上げる。   | 施策項目6「シティセールス」において具体的な定住策などを施策として取り上げています。  |